

山梨近代人物館 第9回展示

# 近代甲府を彩った人々

## — 県都甲府五百年 —

若尾 逸平

野口 正章

杉浦 謙

小田切 謙明

名取 雅樹

伊藤 うた

小宮山 清三

山中 共古

名取 忠愛



若尾逸平

子ども向けコーナー  
プロジェクトマップや  
クイズもあるよ!  
遊びに来てね!!

■ 展示期間 / 2019年4月1日(月)～2019年9月27日(金)

- 開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
- 休館日 / 毎月第2・第4火曜日(その他臨時に休館する場合があります)
- 入館料 / 無料
- 住所 / 甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
- お問い合わせ / TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991

<http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html> facebookやっています

※写真提供 / 山梨中銀金融資料館・山梨県立博物館・伊藤学園甲斐清和高等学校・個人蔵

# 山梨近代人物館

The Museum of

MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

山梨県庁構内図 愛称:オープンガーデンやまなし





山梨近代人物館 第9回展示

# 近代甲府を彩った人々

## — 県都甲府500年 —

今年、甲府は武田信虎によって本拠地として開かれてから500年。  
甲斐国と山梨県の政治経済の中心として発展してきた甲府は、多くの人々たちが集い、  
近代山梨を動かした人物たちの活躍の舞台となった。

### 甲府開府500年で築かれてきたもの

武田信虎による開府から500周年を迎える甲府。戦国大名の本拠地として出発した甲府は、江戸時代になると甲府徳川家や柳沢家を大名として迎え、江戸幕府と密接な関係を持つ重要な拠点となっていくとともに、内陸都市随一の商都として発展を遂げていった。こうした甲府の街のにぎわいは活発な交流を生み、人々の積極性や行動力を育てていった。



明治36年(1903)の甲府駅開通式(山梨県立博物館蔵)



甲府城から勲業試験場と市街を望む(山梨県立博物館蔵)



明治45年(1912)春のにぎわう柳町(山梨県立博物館蔵)



東日本で最初の日本人の手によって製造販売された三ツ鱈ビールのラベル(山梨県立博物館蔵)

### 県都甲府—山梨県の政治経済の中心として—

開府以来、甲斐国の政治と経済の中心として歩んできた甲府は、明治維新後も甲府県、そして山梨県の政治経済の中心として、その役割を果たしていった。甲府は新たな文化や産業がいち早く取り入れられ、急速に街の装いを改めていくとともに、明治22年(1889)7月1日には、全国34番目の市として新たなスタートを切る。甲府は名実ともに「県都」として、多くの人々の活躍の舞台になっていった。



若尾逸平扇面(山梨県立博物館蔵)

### 甲府を行き交う人々と文化

信虎以来の長い歴史を持ち、江戸からの文化的影響を受けてきた甲府には、独特な文化が育まれてきた。学術や教育についても、甲府には徹典館が設置されたことによって、多くの幕府の俊英が学頭として派遣され、多くの人々が優れた教育機会を得ていった。こうした江戸時代からの文化的な発展は、明治時代以降の人々の飛躍を準備する、大きな礎となっていたのである。



錦町に開設された勲業製糸場を描いた「山梨県甲府勲業場之図」(山梨県立博物館蔵)

# 山梨近代人物館

The Museum of  
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階  
TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991  
<http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>

JR中央線・身延線甲府駅南口徒歩5分  
乗用車の場合は、防災新館地下駐車場をご利用  
ください(駐車無料)

